

科目ナンバリング											
授業科目名 <英訳>		フランス語Ⅰ（８Hコース） F1301 Primary French				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 守田 貴弘			
群	外国語科目群				分野(分類)			使用言語			日本語及びフランス語
旧群	C群	単位数	16単位	週コマ数	4コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・通年		曜時限	火5・水4・木4・金5		配当学年	全回生		対象学生	全学向	
[授業の概要・目的]											
LL教室を用い、フランスで開発された教科書を使って、日本人教員とフランス人教員が連携して授業に当たり、コミュニケーション能力の習得に重点を置いたフランス語学習を行なう週4回授業の初級インテンシブ・コースである。レベルは初級で、全学部・全回生の学生が履修できる。1回生は自分のクラスにクラス別コースが割り当てられていても、8時間コースを選択すればクラス別コースに出席する必要はない。半期制のクラス別コースとは異なり、1年間で単位が出る通年制で、8単位が取得できる。ただし、週4回出席することが必須で、2回だけというような部分的受講はできない。単位も部分的に与えられることはない。8時間コースは中級6時間コースに接続しており、両方を受講すれば2年間通して、連続した効果的な学習がてできる。											
[到達目標]											
このインテンシブ・コースは、特にフランス語に力を入れて勉強しようとする人向けのクラスである。週に2回授業のクラス別コースに比べて、聴く・話すというコミュニケーション能力の開発に重点を置いた授業を行なう。また教室での聞き取り練習や会話練習などを通じて、日常的なフランス語の運用能力を身につける。											
[授業計画と内容]											
フランスで制作された視聴覚教材を用いて、日本人教員とフランス人教員がリレー形式で授業をする。次のような項目について、各課8回程度の授業を行ない、各課ごとにテストを行なう。 第1課 自己紹介、肯定文・否定文・疑問文、第1群規則動詞、定冠詞、名詞の複数形 第2課 不定冠詞、動詞avoirとêtre、所有形容詞、疑問詞qui, que 第3課 疑問詞 quand, ou、動詞の命令形、不規則動詞 aller 第4課 部分冠詞、不規則動詞 venir, boire, 疑問形容詞 quel 第5課 不規則動詞faire、複合過去(1) 第6課 指示形容詞、第2群規則動詞、数量副詞 第7課 複合過去(2)、動詞partir、vouloir、devoir 第8課 疑問詞pourquoi、理由の表現、国名と前置詞 第9課 直接目的格補語人称代名詞、比較級 第10課 間接目的格補語人称代名詞、不規則動詞 écrire、近接過去 第11課 単純未来、不規則動詞savoir 第12課 命令形、半過去、il y a、不規則動詞connaître 第13課 代名動詞、近接過去、関係代名詞qui											
[履修要件]											
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。											
----- フランス語Ⅰ（８Hコース） F1301(2)へ続く↓↓↓											

フランス語Ⅰ（８Ｈコース） F1301(2)

[成績評価の方法・観点]

各課の終わりに実施するテストの成績を集積して、平常点によって判定する。学期末試験は行わない。成績評価基準の詳細については、授業中に指示する。

[教科書]

M.Kanema-Pougatch 『Café Crème 1』（Hachette）ISBN:978-2011550163
京都大学フランス語教室編 『新初等フランス語教本 文法編 5訂版』（白水社）ISBN:978-4-560-06091-9

[授業外学修（予習・復習）等]

新たに進む課の単語を調べたり、授業で学んだ動詞の活用や表現などを繰り返し練習するなど、授業前の予習と授業後の復習が必要である。

[その他（オフィスアワー等）]

新年度の第1回目の授業で、授業内容を説明するガイダンスを行なうので、KULASISの掲示に注意すること。